

国際会議の開催に向けた知事コメント

2019年5月、東京で二つの国際会議を同時に開催することとしました。

気候変動や社会包摂などのグローバルな課題を解決していくためには、多くの人口を擁し、経済活動の中心地である大都市の行動が極めて重要です。U20は、その認識の下に立ち上げられた都市のプラットフォームであり、東京都も設立間もない時期から参画してきました。そして、2019年には、東京都がU20議長を務めます。東京に世界の主要都市のリーダーをお呼びし、持続可能で包摂的な世界の実現に向け、G20に対して、都市の意欲的なメッセージを発信してまいります。

今年には日本国内でも地震や風水害など多くの被害に見舞われました。世界各地での、地震とその津波被害や大型台風等による風水害なども含め、災害はいつ起きてもおかしくない、これまでの想定を超える事態が生じかねない、と改めて「備えよ 常に」の認識を強くしました。都市の防災フォーラム Tokyo では、災害を経験した都市のほか、首長級ラウンドテーブルモデレーターには国連事務総長特別代表（防災担当）兼国連国際防災戦略事務局（UNISDR）ヘッドの水鳥真美氏をお迎えし、都市に住む人々の生命を守るための首長の思いや、各都市の防災の知見を共有し、世界共通の財産にしてまいります。

両会議の開催を通じて、東京2020大会を目前に控え、より高度な成熟都市へと飛躍しようとする東京の姿を世界に印象づけたいと考えております。